

本市における部活動の実態及び意識調査の報告等について

1 部活動の地域移行が求められる背景と国の動き

【背景】

部活動指導で負担のかかる教員の働き方改革や少子化により部活動の維持が困難になった現状を踏まえ、部活動の在り方が見直されるようになった。

【国の動き】

- ・スポーツ庁の「運動部活動の地域移行に関する検討会議」が令和4年6月6日に提言を提出、文化庁の「文化部活動の地域移行に関する検討会議」からも令和4年7月12日に提言案が示された。
- 提言では、令和5年度～令和7年度までを改革集中期間とし、まずは、休日の部活動の段階的な地域移行から開始していくことが示された。

2 検討会議で示された課題

- ・地域における新たなスポーツ、文化芸術に親しむ環境の在り方とその構築方法等
- ・地域におけるスポーツ、文化芸術団体等の整備充実
- ・地域における指導者の質の保証・量の確保方策
- ・地域におけるスポーツ施設、文化施設の確保方策 ・大会、コンクールの在り方
- ・会費の在り方 ・保険の在り方 ・学習指導要領を含む関連諸制度の在り方など

3 本市の部活動の状況

- ア 加入状況（男女合計）・・・運動部 72.4% 文化部 25.6% 未加入 2.0%
- イ 部活動に全員参加を求めている中学校数・・・6校／8校（騎西中、北川辺中は希望制）
- ウ 外部指導者・・・運動部 25名 全体の部活動数（88部）からみた配置率 28.4%
文化部 5名 全体の部活動数（30部）からみた配置率 16.7%
- エ 専門的な指導ができる顧問・・・68名（全体から見た割合 42.8%）
- オ 部活動実施上の課題
 - ・生徒の減少により部員が足りず、自校でチームを組めない状況がある。
 - ・学校規模によっては、部活動の種類が少なく希望する競技等に取り組めない状況がある。

4 本市の今後の動き

- ・国、県の示すビジョンを受けて、本市の部活動地域移行の方向性等を策定していく。

資料1

- ・学校ごとに生徒や保護者のニーズを把握するためのアンケート調査を実施（7/11～7/20）した。資料2-1～資料2-4
- ・本市の実態を踏まえた部活動の在り方を整理していくため、加須市としての検討会議を立ち上げ、実態調査の結果や国から示された方向性や課題を共有する。
- ・加須市における地域スポーツ活動団体について 資料3-1 資料3-2